



【BV+FOLFIRI 療法について】 (ベバシズマブ+フルオロウラシル+レボホリナート+イリノテカン)



😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
パロノセトロン注(アロキシ)	吐き気止めです	15分														
デキサメタゾン注(デキサート)																
ベバシズマブ注(アバスチン)	抗がん剤です	90分		2回目から点滴時間が短くなることがあります。												
イリノテカン注	抗がん剤です	2時間														
レボホリナート注	フルオロウラシルの効果を強める薬です															
フルオロウラシル注	抗がん剤です	15分														
フルオロウラシル注(持続)	抗がん剤です	46時間														



この週はお休みです。

😊 治療による副作用

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
自覚症状	過敏症														
		痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。													
	食欲不振・吐き気														
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。													
	口内炎														
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。													
検査値	下痢														
		便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。													
	色素沈着														
検査値		肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。													
	脱毛(頭髮・まつ毛・眉毛など)														
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。													
検査値	白血球減少														
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。													
	赤血球減少(貧血)														
検査値		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。													
	血小板減少														
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。													

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていますが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

- 血圧上昇 ● 出血(鼻血など) ● タンパク尿 ● 胃腸穿孔(下痢や腹痛が続く、激しい腹痛など) ● 傷の治りが遅い
- 血栓・塞栓(足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

実際の投与スケジュールと異なる場合があります。本資料は参考としてお使い下さい。

名古屋市立西部医療センター薬剤科(代表)052-991-8121